

乙訓救急フェア 2024 のアンケートでいただいた御質問への回答

御質問	回 答
<p>☆AED の設置場所について</p> <p>現在は事務所の中等に設置してある場合が多々あります。もっと OPEN な場に誰でも手の届く場に多く設置をして欲しいと思います。</p> <p>(ex モノレールLineには改札口の辺りにあります。)</p>	<p>いざという時に AED を使用できないのではないかと御心配かとお見受けします。</p> <p>ただ、AED は高価な機器であること、そのため AED を入れておく筐体には盗難対策の警報ブザーが付いているものが多いことなど、管理の都合上、職員の目が届く所（施設内）に設置せざるを得ないのが現状です。</p> <p>インターネットで「AED マップ」と検索すると、いくつか公開されている情報がヒットします。しかし、夜間・休日にも使用できるかは、そのマップではわかりません。AED を探す時は、今、その施設が営業中かどうかにも留意願います。</p> <p>これから目指すべきは「OPEN な場に」というよりは「24 時間使用できる場に」必要数の AED を設置することなのかもしれません。けれどもそれは、設置とランニングコスト（使用期限を過ぎたバッテリー、電極パッド、機器本体の取替）の費用の問題、日々の管理の問題、設置場所職員の操作習熟の問題等、解決していかなければならないことが多数あります。</p> <p>AED をいつでも、だれでも使用できるようにするにはどうしていったらよいのか、それは皆で協力して考えていくべき事柄なのだと思います。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>(文責：乙訓保健所)</p>
<p>別件ですが、緊急事態宣言下よりも最近のほうが、新型コロナウイルス感染症にかかる身近な友人、知人が圧倒的に増えています。</p> <p>ただ、風邪症状、熱が上がった程度、喉が痛む程度の軽症のようです。こういう傾向は一般的でしょうか。一方、後遺症の影響も深刻と聞きますが、最近の新型コロナウイルス感染症も後遺症は深刻なのでしょう。</p>	<p>乙訓保健所のホームページで「感染症流行情報（週報）」を毎週更新しておりますので、新型コロナウイルス感染症の流行を知る参考としていただきますようお願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症はウィルスが変異を繰り返しており、まだまだ未知の部分が多い病気です。厚生労働省や国立感染症研究所が発表した最新の情報や報道等に留意していただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症にかかって重症化するかどうかは、そのウィルスの強毒性だけでなく、かかった方の免疫や基礎疾患の有無、年齢などが複合的に関係するものです。</p> <p>また、いわゆる後遺症ですが、様々な研究がなされていますが、まだ不明な点も多く、様々な症状と新型コロナウイルス感染症との因果関係は十分にはわかっていません。</p> <p>乙訓救急フェアの講演の中でも説明があったように、ワクチンを接種するという選択肢もありますし、「感染しない、感染させない」取組を日々お願いいたします。</p> <p>(文責：乙訓保健所)</p>